

「正射必中」
せいしや ひつちゆう

◆ 子どもの頃のテストの点数から、仕事のノルマまで、私たちは常に「結果」を求められる社会に生きている。だからこそ、ときに結果に執着してしてしまう。「絶対に失敗できない」と肩に力が入って空回りしたり、「最短で成果を」と急ぐあまり後で大きなツケを払うことになったり……。心当たりがある人も多いのではないだろうか。

◇ きゆうどうとう弓道には「正射必中」という言葉がある。ま的に当てることではなく、「正しく射る」ことに心を注げば、矢はおずととの的に当たるという意味だ。足を踏み開き、弓を引き、矢を放った後の余韻よゐんに至るまで。一つひとつの過程が、正しい姿勢、正しい精神でできているかを点検し、それらを丁寧に積み重ねていく。

◆ 結果よりもプロセスを重んじる「正射」の姿勢。せいしやそれは弓道だけでなく、ビジネスや日常のあらゆる「道」に通じる、確かな「結果」への本質的なアプローチではないだろうか。

— 天理のことば —

「早き道は早きにならん、

遅くの道は遅きにならん。」

(明治二十四年一月二四日)

陽気ぐらしの天理教